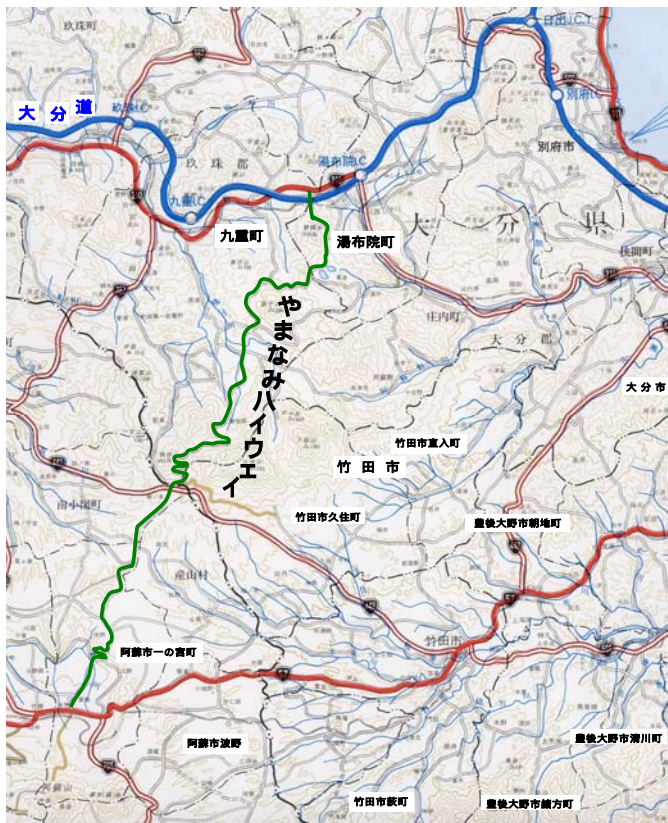


観光社会資本の事例

テーマ	くじゅう連山に向かって走るやまなみハイウェイ	
【施設の状況写真】		
		
くじゅう連山に向かって真っ直ぐにのびるやまなみハイウェイ。	沿道には公共駐車場が数多く整備されており、観光客の憩いの場となっている。	
【施設の利用写真】		
		
標高1330m牧の戸峠には公共駐車場があり、くじゅう連山への登山口として、多くの登山客に利用されている。	長者原には環境省のビジターセンターがあり、くじゅうの自然を学ぶことができる。	
【観光資源としての利用状況】		
県道別府一の宮線「やまなみハイウェイ」は、観光と産業を支える道路として重要な役割を果たしており、春には新緑、夏には登山、秋には紅葉、そして冬にはスキーと一年中を通して数多くの観光客に利用されています。 くじゅう連山や高原地帯をバックに走るやまなみハイウェイは、快適なドライブコースとして親しまれています。また、道路沿いには数多くの公共駐車場が整備されており、車を停めてゆっくりと阿蘇くじゅう国立公園の雄大な自然を堪能することができます。		

テーマ	くじゅう連山に向かって走るやまなみハイウェイ
【社会資本の基礎データ】 ○ 名称 やまなみハイウェイ(県道別府一の宮線) ○ 所在地 大分県大分郡由布市～熊本県阿蘇市 ○ 事業名 ○ 事業主体 日本道路公団 ○ 事業期間 昭和36年2月着工～昭和39年10月全線開通	
【社会資本の役割・効果】 やまなみハイウェイは、遅れていた九州中央部の道路交通事情の改善を図り、産業と観光を発展させるため、大分県由布市と熊本県阿蘇市の間全長約52kmを一般有料道路として日本道路公団により建設された道路である。その後平成6年6月に無料開放され、現在は県道別府一の宮線として両県で管理している。 この道路は、阿蘇くじゅう国立公園という最高のロケーションを縦断していることから、その周辺には、由布院温泉、飯田高原、くじゅう連山、瀬の本高原、そして阿蘇山と、九州屈指の観光地が多数存在し、一年を通して日本全国から多くの観光客が訪れている。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 由布院温泉観光協会 http://www.yufuin.gr.jp 九重町観光協会 http://www.kokonoe-k.com/	